

事業所名 ぐろーす豊平

公表:令和 3 年 4 月 10 日

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏 まえた改善内容又は改善 目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		学習ルームとプレイルームを区切り、切り替えが図れるよう配慮している。	児童数が多い際に、休憩スペースでは人口密度が一時的に高くなってしまう場合がある。
	②	職員の配置数は適切であるか			○		昨年12月開所に伴い、利用児童も急激に増えたため、現在人員を募集している。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○			
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		○			今後、モチベーションや支援の質の向上を図るため、実施予定。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○				
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○				
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○			
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか		○			限られた人員配置であり、1日を通した研修への参加は難しい状況であるが、時間の短い外部研修への参加や、内部研修などを計画し実施していく。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○				
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		利用前にアセスメントシートを作成し、それを踏まえて支援を行っている。	
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			月に1度の会議の中で、プログラム内容の検討を行っている。	
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○				
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			個別の課題や、年齢に応じた学習内容を設定している。	
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			利用児の年齢に応じて、内容を設定、臨機応変に対応を行っている。	
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎朝の打ち合わせを行い、情報共有・伝達を行っている。	

	⑩	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○			長期休暇時には、利用が朝から夕方までとなるため、細かな支援の確認・共有方法を検討する必要がある。
	⑪	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			毎日利用児の様子を記録している。	
	⑫	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか		○			新しい事業所であり、今後実施していく予定。
	⑬	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか		○			地域交流の機会の確保が難しく、社会情勢を踏まえ、実施を検討していく。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑭	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○				
	⑮	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか		○			
	⑯	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○		現在対象となる児童がいないが、今後の利用児の状況により、対応を行う。
	⑰	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		利用児童の保護者より、園での様子などの紙面を参考に対応をしている。	
	⑱	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○		現在対象となる児童がいないが、必要に応じて実施していく。
	⑲	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○			
	⑳	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			○		初年度は実施していないが、社会情勢を踏まえ実施を検討していく。
	㉑	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			○		開所間もない為不参加であったが、今後の事業所の状況に応じて参加を検討していく。
	㉒	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			利用時に事業所での様子や必要事項を申し送っている。	
	㉓	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		面談時に、必要な支援などの共有を行っている。	

保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○				
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○				
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○		現在実施していないが、必要に応じて検討を行う。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○				
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			月に1度会報誌を配布、ブログの更新を日々実施している。	
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	○			ブログなどで、ご家庭の要望に応じて配慮を行っている。	
	③⑯	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○				
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○		現在実施していないが、社会情勢を踏まえ、実施を検討していく。
非常時等の対応	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○				
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか			○		避難訓練を今後実施予定。
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか			○		内部・外部研修の充実が必要であり、今後実施を行う。
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか			○		保護者への伝達は行っているが、職員間での共有が不十分な部分があるため、共有を行う。
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○		
④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか			○			

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。